

佐久市駒の里過疎対策プロジェクト支援金事業 自己評価報告書

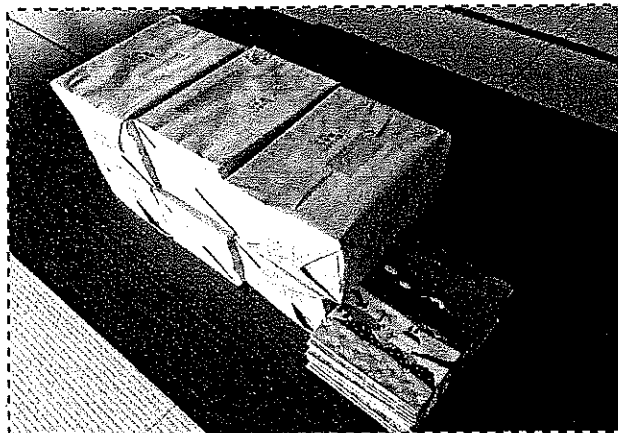
評 価 日 平成31年3月3日

団 体 名	観音寺区		
事 業 名	観音寺区の歴史を編む ー過去・現在そして未来創造へー		
対 象 経 費	1,028,781 円	支 援 金 交 付 対 象 経 費	205,781 円
支 援 金 額	102,000 円		

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>観音寺区も他の中山間地同様、今後は高齢化が進み、急激な人口減少が予想される。そこで、今この地に住む住民が区内外に残る資料や高齢者からの聞き取りを通じ新田開拓から現在に至る歴史を紐解き、また、各家に残る写真などを加えた資料集として後世に伝える。さらに、焦点ともいえる雨塚池跡などの水源をめぐるバスツアーを行い、現地を見ることで先人たちの努力を実感してもらおう。このように、地区の歴史や風俗を、区民全員で学び共有の資産とすることで、その魅力を再認識し、共同体として維持していくための力の源とする。さらに外部に向けた発信にも繋げ「住みたい地区」として知ってもらおう活動にも発展させたい。</p>
	<p>内容</p> <p>1、観音寺区の歴史をまとめた資料集の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者からの聞き取り、移住者から地区の魅力を聞き取り（座談会形式）</li> <li>・区民が持つ写真や古文書などの資料の収集、整理</li> <li>・行政の資料から人口の推移、中山間事業などを調査</li> <li>・町史や周辺地域の関連書籍から観音寺地区の情報を収集し、年表や地図にまとめる</li> </ul> <p>2、圃場水源をめぐるバスツアーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観音寺区に導水される農業用水の源はどこなのか？どのような経路で導水されているのかを学ぶ。農業用水を築き、維持してきた先人たちの労苦を知り区民が共有することで、郷土愛を育むとともに、参加者間の交流も深める。</li> </ul>
事業の活動実績	<p>～H30.3 区内の合意形成と、編纂委員会の組織化、座談会の実施→区民総会への提案</p> <p>H30.4～H31.1 歴史書の内容検討、資料収集と編集作業</p> <p>H30.7.8 雨塚池跡など水源をめぐるバスツアー実施（参加者：20名）</p> <p>H30.11.18 地区の収穫祭で編集用に集まった写真の上映会を実施</p> <p>H31.1～2 レイアウト完了～印刷発注</p> <p>H31.2.18 印刷完了、納品</p> <p>H31.3.17 区民総会後に区民に資料集配布、順次周辺地域の図書館などへの資料集配布</p>



真剣な編集会議



納品された歴史書

別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<p>地区の魅力や課題を住民全員で共有し、皆で地区の未来を考えるための事業とする。</p> <p>そのため、住民全員参加を目標とした。</p> <p>編集作業への参加、古文書などの資料提供、寄稿や聞き取り、座談会への参加、バスツアーや写真上映会への参加、古い写真の提供など、区内のほとんどの世帯から協力を得られた。</p> <p>目標の全69世帯の90%以上の参加は達成できた。</p> <p>今後、周辺地域に資料配布することで、より多くの方々の目に留まり、地区の知名度を上げることを期待する。</p>
----------	---

自己評価	<p>事業は申請どおり実施できた</p>	<p>① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>編集委員一同、期間内で必ず歴史書を完成させる意気込みで編集作業を行い、実現できた。</p>
	<p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた</p>	<p>① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>区民の合意を得るために区民総会をはじめとして機会があるごとに歴史書編集の状況をアナウンスし、全員の協力を得られた。</p>
	<p>実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について</p>	<p>① ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p>
	<p>その他、評価すべき点等</p>	<p>昔を知る年配者のお話や子供たちの夢を描いた作文が印象的で、区民共通の話題となっていた。会話が生じることで、区の課題や未来を話す場を作ることができた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>歴史書用に区民から集まった写真などを保存、さらに追加するなど、活動を継続して、さらに区民のコミュニケーションの機会を増やす活動としていきたい。</p>
---------	--